



作られるものは測られる 産業支える島津の技術がタイでも

SHIMADZU (ASIA PACIFIC) PTE LTD.



創業141年。京都を発祥とする精密機械メーカーの島津製作所は現代でいう「ベンチャー企業」のさきがけ。創業者の二代目島津源蔵は日本で初めてのレントゲン写真の撮影に成功。これがのちのCT、MRIといった医用測定機器の発明につながった。X線の発生には高電圧の電力も必要で、日本で初めて鉛蓄電池の生産にも成功した。車載向け電池ブランド「ジーエス(GS)」は島津源蔵のイニシャルに由来。日本の近代化を産業の基礎から支え続けた事実を今に伝えている。「作られるものは測られる」。島津製作所の高度な計測技術とサービスはタイの大地でも確かな歩みを始めようとしている。

■タイに2つの代理店

シンガポールにアジア太平洋地域の統括拠点を置く同社では、タイに2つの主要代理店を置き、顧客のニーズに合ったサポートケアを展開している。分析計測機器全般を中心とするBARA SCIENTIFIC CO.,LTD.と、X線非破壊試験機を主力とするMATSUDA ENGINEERING CO.,LTD.の2社。このうち後者のMATSUDA社の本社敷地内には島津製のX線非破壊機を複数台配備しカスタマーサポートセンターとして機能している。両社ともに日本人スタッフ、あるいは日本語に精通したタイ人幹部スタッフを配置しており、緊急時の不測の事態にも日本語での対応が可能。言語ストレス・ゼロの重層的なサービスが顧客からの厚い信頼を得ている。

産業の高度化・集積化が進むタイの製造業市場。日系を含め企業が求めるサービスの水準やグローバル化は高まる一方で、これに機敏に応じられなければ競争を勝ち抜くことはできない。システムの稼働を止めることができ

ないといったニーズは、もはやタイでも当たり前となった。だが、それは時に大がかりな設備投資となって企業に負担を強いる場面となって現れてもくる。

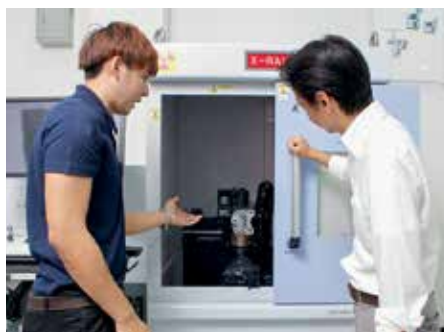
その解決策として、同社では保守点検サービスのプラン充実も進めている。「壊れる前の定期点検といったイメージ。不具合が生じてからではなく、生じる前に健康診断を受けましょうというサービスです。健康診断も年齢などの条件によってそのメニューも異なるように、保守点検サービスについてもプランを複数準備しています」とアジア太平洋地域を統括す

るSHIMADZU (ASIA PACIFIC)でタイ市場を担当する西尾徹ゼネラル・マネジャー(GM)は解説する。

海外に進出する日系企業の中には、日本の装置仕様環境をそのまま海外工場でも実現したいとの希望もある。こうしたことを受けて、サービス商品の一つ「アシストプラン」も提案している。定期的に日本人サービススタッフが日本から来タイし、ローカルサービススタッフとともに保守点検を行うサービス。特に日本のマザー工場と同一の装置を使用し、装置間のデータ整合性を重視する顧客から高い評



同社が開発した日本初の鉛蓄電池



タイのショールーム

価を得ている。日本市場で培った保守点検技術と現地に配置されたタイ・ローカルスタッフとの情報連携。その相乗効果によって日本市場と変わらないサービスの拡充の実現を目指している。

■日タイ双方からのダブルサポート

顧客の世界(国際)戦略を念頭に置いた提案型営業も強みだ。1国あるいは特定の地域だけでは成り立ち得ないのが現代のグローバル時代の経営。投入する資源を少しでも効果的効率的に運用できるよう、国境を超えたマネジメントの真価が問われ始めている。ここでも同社の組織力、エンジニアリング力が高い評価を得ている。日本とタイのそれぞれの顧客担当者が情報共有。必要に応じ、互いが出張を伴うなど顧客情報の共有&連携を深めることでより質の高い提案を可能とした。いわば、日タイ双方からダブルサポート。容易に真似できない重厚なサポートを必要とする市場は、今後も拡大するものとみられている。

顧客の使い勝手の向上を図ろうと、大手レンタル会社とタイアップしたX線非破壊試験機のレンタルサービスもタイで開始した。さまざまな場面や子細な用途に応じた多品種

少量生産のこの市場。ごく短期間、必要な時に必要なだけ。大がかりな設備投資が避けられる企業側にとっても、これほど嬉しいことはない。レンタルの仕組みを採り入れたことで、顧客企業にとってもより間断のないラインの仕組みを構築することが可能となった。

創業以来、基礎研究に重点を置き、実験器具等も取り扱ってきた経緯から、教育に対する造詣も深い。2015年には三次元計測器メーカーと共同でタイ人技術者らを対象とした業界セミナーを主導・開催。計測測定業界の底上げに貢献した。「事業そのものに忙しく、企業の中には従業員教育まで手が回らないところもあります。計測機器は正しく使えて初めて効果を上げます。そのためには、装置の基本原理の理解や技術用語を正しく理解することはとても重要だと考えています。」同GMは狙いについて語った。

■世界に誇る科学技術力

「科学技術で社会に貢献」を社是とする島津製作所。創業期にはたとえ他社であろうとも技術指導には惜しむことなく協力し、これが戦後日本の科学技術立国につながった。同社の技術を発展継承し、その後、事業を花開か

せた例は枚挙に暇がない。折に触れ「儲からない」とされる基礎研究にも惜しみなく資本投下を行い、世界の科学技術の発展を後押ししてきた。それが田中耕一現シニアフェローのノーベル化学賞受賞につながり、新薬開発などの道となって新たな時代を切り開いた。

「時代を先取りし、新しい技術や装置を世に出し続けた面白い会社」と西尾GMは自らの所属先を説明する。分析・計測機器、医用機器、産業機器、航空機器。今では幅広いジャンルで事業展開を進めるが、常にその要諦にあったのが「科学技術力」だった。島津製作所はその高い科学技術力とサポート力で、タイの大地で新たな新境地を切り開こうとしている。



マイクロビッカース硬度計
HMV-Gシリーズ



精密万能試験機
AG-Xplusシリーズ



マイクロフォーカスX線透視装置
SMX-1000 Plusシリーズ



マイクロフォーカスX線CTシステム
SMX-225CTシリーズ



Shimadzu (Asia Pacific) Pte Ltd

西尾 徹 (タイ正規代理店Bara Scientific社内に常駐)
U Chu Liang Building Floor7 968 Rama 4 Road Silom
Bangrak Bangkok 10500 Thailand
095-206-8180 nishio@barascientific.com
<http://www.shimadzu.co.jp/>